

# M8ツーリングモデル スリップオンマフラー 交換説明書



## 注意事項

### はじめに:

最初に取り付けに必要な行程と工具を確認して下さい。  
正しく取付けを行わないと破損や事故など安全に著しく影響を及ぼす恐れがあり。  
取付けが難しそうと思われたり、ツールが揃っていない場合は弊社もしくはお近所のカスタムショップにご相談下さい。

### 安全確保:

作業を始める前に、必ずバイクが冷えていることを確認してください。エンジンやマフラーが熱い状態で作業すると、火傷の危険があります。作業中は手袋等を着用し、安全に十分注意してください。

### バイクの安定:

バイクを平らで安定した場所に置き、サイドスタンドまたはセンタースタンドを使用して、バイクが倒れないように固定してください。

### 部品の保管:

取り外した部品は紛失しないように、順番を覚えておき、整理して保管してください。

### 必要工具:

ラチェットレンチ、ボックスソケット、ロングソケット(ヘックス)、プラスチックハンマー、CRC-5-56などの潤滑油



## 事前準備

1. サイドスタンドがしっかりと出ている、または車輛がしっかりとジャッキアップされている事を確認する。
2. 左右のサドルバッグを取り外します。

3. 取り外したサドルバッグはキズがつかないように作業終了まで大切に保管しましょう。

次ページよりスリップオンマフラーの交換作業が始まります。



免責事項: この日本語取付けガイドは(米)Rinehart Racing社の英語版を元に(株)ワールドモーターライフが独自に編集したものです。詳細は英語版をご参照ください。この取付けガイドの記載情報により破損や事故が発生しても(株)ワールドモーターライフは責任を取りかねます。



## スリップオンマフラーの取り外し

4. 工具を使って作業する箇所の確認をします。  
まずはエンド側から、ブラケットへ潜るように取り付けられたラバーにステーが差し込まれており、ここにスリップオンマフラーを固定しているボルトが2本あります。



5. エキパイ側については、クランプだけでスリップオンマフラーを固定しています。  
作業しづらい箇所となるので、予めクランプの向きやナットの位置等をしっかりと認みましょう。



6. 確認が終わったら、リア側のボルト2本を取り外します。取り外すのはあくまでもボルトだけです。  
外した後は、ラバーに刺さったステーやラバー自体に変形や大きな損耗が無いか確認しましょう。  
※損傷や大きな変形がある場合は部品の交換が必要です。



7. 次にクランプのナット緩めます。  
クランプやナットの位置にもよりますが、ロングソケットを使用して作業することをお勧めします。  
工具をぶつけてキズを付けないように、マフラーやエキパイと工具のクリアランスを確保し十分に注意しながら作業をしましょう。

免責事項: この日本語取付けガイドは(米)Rinehart Racing社の英語版を元に(株)ワールドモーターライフが独自に編集したものです。詳細は英語版をご参照ください。この取付けガイドの記載情報により破損や事故が発生しても(株)ワールドモーターライフは責任を取りかねます。

8. ボルトを外し、クランプをしっかりと緩めたら、スリップオンマフラーの取り外しです。

大概の場合、クランプを緩めるだけではスリップオンマフラー外れません。

取り外しのコツは、エキパイとの接続部分をテコのように上から下へグッと押さえつける。



9. 次に、こちらもエキパイとの接続部分をテコのように左右に振り、引っ張る。

この作業を繰り返してスリップオンマフラーが中々動かない場合は、潤滑油を使用して作業をしましょう。

※潤滑油を使用して作業すると、取り付け後の走行ではしばらくの間、白煙が上がります。



10. スリップオンマフラーを取り外したら、そのままクランプを取り外します。

交換するマフラーに流用するのでクランプ自体をしっかりと点検しましょう。

径が拡がりすぎたり、いびつな形状になっている場合はプラスチックハンマーで形を整える必要があります。

変形が酷い場合やクランプの間にある「コマ」部分が潰れている場合は交換しましょう。

※径が拡がりすぎたままではクランプをしっかりと締め付けることが出来ない場合があります。

11. 反対側のスリップオンマフラーも同じ手順で外します。



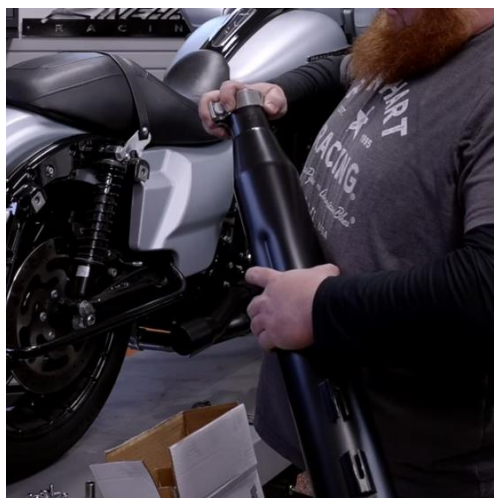
免責事項:この日本語取付けガイドは(米)Rinehart Racing社の英語版を元に(株)ワールドモーターライフが独自に編集したものです。詳細は英語版をご参照ください。この取付けガイドの記載情報により破損や事故が発生しても(株)ワールドモーターライフは責任を取りかねます。

## スリップオンマフラーの取り付け

12. ここからは取り付けになります。

まずは、先程外したクランプを新しいスリップオンマフラーに取り付けます。取り付けが終わったら、エキパイにスリップオンマフラーを差し込み、取り外しの時の手順と同様に徐々に奥まで差し込んでゆきます。

※ここでも動きが悪い場合は潤滑油をご利用ください。



13. 差し込んでゆく際には、ボルトで固定するステーの部分に対してまっすぐ差し込みましょう。

右図のように、ステーとスリップオンマフラーのボルト穴の通りを確認しながら、前後位置しっかりと合わせます。



免責事項:この日本語取付けガイドは(米)Rinehart Racing社の英語版を元に(株)ワールドモーターライフが独自に編集したものです。詳細は英語版をご参照ください。この取付けガイドの記載情報により破損や事故が発生しても(株)ワールドモーターライフは責任を取りかねます。



14. 穴位置がしっかりあったところで、マフラーエンドをラチェットレンチで締め付けて、一旦仮留めします。

※この際に使用するハードウェアはボルトの場合やナットの場合など、取り付けるスリップオンマフラーにより付属しているハードウェアが異なります。



15. エキパイ側のクランプも同様に仮留めします。予め次回の作業を行いやすい位置にナットの位置を調整して固定しましょう。作業時には当てキズを作らないよう、工具とスリップオンマフラー・エキパイとクリアランスに十分に注意しましょう。

※干渉の恐れがある箇所を養生テープ等で保護するのもお勧めです。

15. 同じ手順で反対側のスリップオンマフラーも仮留めします。

#### 16. 重要ポイント

左右のスリップオンマフラーの突出量、芯の位置、タイヤを中心とした左右の開き具合のバランスをしっかりと確認しましょう。

※ズレがある場合や差し込みが浅い場合、落下や干渉の恐れがあります。

17. 確認して問題がなければ、それぞれの仮り留めしていた箇所をしっかりと締め付ける。

18. 排気漏れが無いかな確認をして作業は完了です。



## 最後に

100kmぐらい走行したらボルト等が緩んでいないかを確認し、増し締め行ってください。

※ハーレーの激しい振動によりボルト類のゆるみが生じる場合がございます。

免責事項: この日本語取付けガイドは(米)Rinehart Racing社の英語版を元に(株)ワールドモーターライフが独自に編集したものです。詳細は英語版をご参照ください。この取付けガイドの記載情報により破損や事故が発生しても(株)ワールドモーターライフは責任を取りかねます。